

# グルジア政治・経済 主な出来事

【5月27日～6月2日】2013年

〔当地報道をもとに作成〕

平成25年6月4日

在グルジア大使館

## 主な動き

### 1. アブハジア・南オセチア

#### 【アブハジア】

##### ▼ガリ地区に住む住民2人が「グルジアのスパイ」の罪で禁固刑を受ける(28日)

・2人は2012年3月に逮捕された。それぞれ13年、11.5年の禁錮刑に処せられた。

・アブハジア「保安局」の発表によれば、2人は2011年にグルジア国防省の諜報部門に採用された後、アブハジアで勤務する露国境警備隊員の1人を懐柔し、露国境警備隊の動きをグルジア側に報告していた。

##### ▼マグニチュード5.0の地震が起きる(28日)

・震源はソフミから40km北東、露グルジア国境付近。被害は確認されていない。

##### ▼アंकワブ「大統領」がクリショフ露国境警備局局長と会見(29日)

・エングリ川沿いの「国境」の警備について、露国境警備局とアブハジア「国境警備隊」との協力について会談。

##### ▼アブハジア正教会の独立を求める署名(30日)

・約7万の署名が集まったと報じられた。

#### 【南オセチア】

##### ▼カバルド・バルカル共和国の議会代表団が南オセチアを訪問(27日)

・28日、カバルド・バルカル共和国と南オセチアの「議会」が協力についての覚書に署名した。

##### ▼ディツィ付近でのフェンスの建設に住民が抗議(27日)

・南オセチア行政境界線から大きくグルジア側に入ったところにフェンスが建設されていることに対し、住民が抗議。

・27日夕、グルジア内務省、南オセチア「政府」、露国境警備隊の代表者が現地で会談。EUMMも同席。

・28日、EUMMが「ディツィ付近の最近のフェンス建設は容認できない」とする声明を発表。30日には米国務省が「グルジアと懸念を共有している」とコメント。

・29日、ウスパシヴィリ国会議長は「最近のグルジア・ロシア関係の改善を好ましく思っていない勢力がロシアにいる可能性がある」と発言。

・29日、ディツィに住む24歳の男性が「不法に越境した」として露国境警備隊に拘束された。31日には自宅の庭で作業をしていた父子が拘束された。父子はハドゥリ財務大臣の親族。

・30日、イヴァニシヴィリ首相はTVインタビューで「国際的なパートナーの関心を集めるべく、あらゆる必要な外交的措置をとった」「ヒステリックになるべきではない」と発言。

・31日、サーカシヴィリ大統領はフェンスの建設が「ロシアの挑発である」として、「グルジア政府の姿勢が試されている」とコメント。

・6月1日、グルジア正教会は、総主教イリア2世がプーチン露大統領に宛てて「憂慮している」「事態を正しく評価し、適切な措置をとることを望む」とする書簡を送ったことを発表。

##### ▼第34回PRM会合(31日)

・南オセチア行政境界線の「国境化」(Borderisation)、住民の拘束、ザルディアントカリ村の治安状況、行方不明者などの問題について協議。

### 2. 外政

##### ▼ガリバシヴィリ内務大臣がブリュッセルを訪問(28日-31日)

・欧州委員会のフューレ委員(拡大・欧州近隣政策担当)、マルムストローム委員(内政担当)と、ビザの要件緩和に向けた行動計画やグルジア国内の状況について話す。ほかに、ミルケ・ベルギー内務大臣、ヴェルシュボウNATO副事務総長らと会談。

・30日、欧州政策センターで講演。「大規模な恩赦にもかかわらず、1月以降、犯罪率は低下しており、状況はコントロールされている」と述べた。

##### ▼ミニョン欧州評議会議会(PACE)議長がトビリシを訪問(28日-29日)

・サーカシヴィリ大統領、イヴァニシヴィリ首相、パンジキゼ外務大臣、ウスパシヴィリ国会議長らと会談。前首相の逮捕に関する懸念を伝えるとともに、すべての政治勢力の協力を促した。

### 3. 内政

##### ▼メラビシヴィリ前首相が2011年5月26日の反政府デモの強制解散についても起訴される(28日)

・「メ」前首相は現在、別の2件で審理前勾留下にある。  
・ブルジャナゼ前国会議長が指揮した大規模な反政府デモに対し、当時の内務大臣として必要以上の力を行使したとされる。デモを強制的に解散させる際に犠牲者4人(警官1人、市民3人)および多数の負傷者を出した。

##### ▼与党連合「グルジアの夢」内に新しい国会会派がつ

## くられる(29日)

・「グルジアの夢・実業家」(Georgian Dream-Industrialists)。「産業がグルジアを救う」党の創設者ゴギ・トパゼ氏が会長で、メンバーは6名(国会内の会派として認められるには最低6名が必要)。与党連合「グルジアの夢」内の6つめの国会会派。

## ▼リトアニア人ビジネスマン、ヴァイトケヴィチウス氏が逮捕される(29日)

・「ヴァ」氏は2012年12月までJSC「ポプリ」監査役、イオリ・スーパーマーケットの取締役会長を務めていた。  
・「Caucasus Electro Market」の経営責任者であった2010年に会社の資金200万ドルを流用したとして、トビリシ空港で出国直前に逮捕された。  
・「ヴァ」氏の妻によれば、検察は「ヴァ」氏と前政権およびメラビシヴィリ前首相顧問を務めていたリトアニア人、ユルゲレヴィチウス氏との関係を探っていたという。  
・31日、保釈金その他の条件なしで釈放された。7月17日に予審が行われる。

## ▼憲法裁判所の審査期間短縮についての改正案を国会が再承認(30日)

・現行法では憲法裁判所による法律の違憲審査は最大11カ月かけて行なわれ、その間、裁判所は法律の執行を停止することができる。改正案はその期間を最大45日に短縮するもの。  
・10日にサーカシヴィリ大統領が拒否権を発動し、審査期間を最大7カ月にすることを国会に提案していたが、国会は大統領の提案を拒否。

## ▼非営利法人の法的地位を変更する法案を国会が再承認(30日)

・法案は、非営利の「私法人」(private legal entity)の法的資格を「公法人」(public legal entity)に変更することを可能にするもの。  
・同法案によって大学の資格が変更されると大学の自治が制限されるとして、大学や野党から批判されていた。  
・10日にサーカシヴィリ大統領が拒否権を発動し、資格の変更を法人の承諾のもとでのみ可能にする修正を国会に提案していたが、国会は大統領の提案を拒否。

## ▼国会の承認した刑事訴訟法の改正案に対してサーカシヴィリ大統領が拒否権を発動(30日)

・刑事裁判での被告弁護人の権利が制限されているとして拒否権を発動。  
・グルジア弁護士協会は、国会が再承認しないよう、国会周辺で抗議デモを開催。一部の弁護士がハンガースト

ライキを開始。

## ▼エブラリゼ経済次官が辞任(30日)

・「税に関する調停協議会(Tax arbitration council)の改革について意見が受け入れられなかったため」と説明。

## ▼国会が放送法改正案の第三読を承認(31日)

・改正案は与党連合「グルジアの夢」が提出したもので、放送局の資産状況の透明化、公共放送局の評議員の構成の変更、Adjara TVの公共放送化を含む。大統領の承認を経て、2014年1月1日に発効する。  
・現行法では、公共放送局の評議員15名は大統領が選んだ候補のなかから国会が決定する。改正案は評議員を9人(任期6年)とし、大統領はその選出に関与しない。また、国会は議員の5分の3以上の賛成により評議会を解散することができるようになる。  
・Adjara TVは現在アジャラ自治共和国政府に属するが、改正案により公共放送局の関連会社となる。  
・2012年6月の法改正で、ケーブル放送者は選挙前60日間のニュース放送が義務づけられたが、改正案によりその期間の限定がなくなる。

## 4. 経済

### ▼国家統計局が2012年の失業率・就業率を発表(27日)

・失業率15.0%。前年から0.1%低下。2009年以降低下が続いている。  
・就業率56.8%。前年から1.4%上昇。2008年以降上昇が続いている。

### ▼JSC「ポプリ」の破産手続き開始(27日)

・債権者であるJSCマルゲベリ・ホールディングとLTDエンガディ(「マ」社の子会社)が申し立て。ポプリ株の88.58%をイオリ・スーパーマーケットが保有。

### ▼ベラヴィア航空(ベラルーシ)がクタイシ・ミンスク便を開始(28日)

・クタイシ空港が発表。週3便。そのほかにも、グルジア航空、ウィズエアー(ハンガリー)、ウラル航空、シベリア航空がクタイシ空港から8都市に向けて運航している。ドネツク便が7月から開始予定。  
・2013年1月から4月までのクタイシ空港の利用者数は22,323人。

### ▼イヴァニシヴィリ首相が9月からの年金増額を発表(31日)

・いくら増額になるかは明らかになっていない。